

【担当教員名】 岩崎浩三, 熊谷秀子, 荒川正昭, 和唐正勝, 宮坂道夫, 大田仁史, 中田力	対象学年 開講時期 単位数	1 前期 1	対象学科 必修・選択 時間数	理学・作業・言語・栄養・林・社会・看護 選択 15
---	---------------------	--------------	----------------------	---------------------------------

【<概要>又は<一般目標 : G I O>】
保健・医療・福祉分野において、長い経験を持つ専門家による講義を通じて、各自の将来の専門職としての発展のために、その分野の諸課題を理解する。

<行動目標 : S B O>】
・講義内容について、その時代的背景、考えの内容、受講者へのメッセージを列記できる。
・講演内容を、自分自身に関連づけて述べられる。
・講演内容を自らの地域に関連づけて述べられる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
①	保健医療福祉専門職とターミナルケア : 6月8日(木) 5限 人は必ず死ぬ。避けることができない終末期、あるいは緩和ケアを必要とする人のQOLを高めるには、医療・看護・栄養・ソーシャルワークに携わる保健医療福祉専門職が、それぞれどのようにかわるかことができるかについて、考える。		講師名(所属) *敬称略 ①岩崎浩三 (新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究所)
②	「健康づくり」って何? : 6月10日(土) 2限 平成15年5月施行された健康増進法には、第三条に「国民の責務」として「自らの健康状態を自覚するとともに健康の増進に努めなければならない」とあります。その真意は「健康に対する自己責任」(健康づくり)です。 健康づくりについて理解を深め、学生生活に役立つ実践方法をお伝えします。		②熊谷秀子 (新潟県栄養士会)
③	保健・福祉・医療に求められるもの —この分野をめざす若者に期待する— : 6月17日(土) 2限 保健・福祉・医療の仕事は、多くの専門職種の人達のチームワークで成り立っている。それぞれの専門職業人は知識・技術と同時に世間の良識・倫理観・社会主義を身につけなければならない。今回は私に教えてくださった先達の歩いた道を通して、若者へのメッセージをおくりたい。	2限	③荒川正昭 (新潟県健康づくり・スポーツ医学科学センター)
④	ヘルスプロモーションについて : 6月22日(木) 5限 2010年を目指した健康づくり運動として、「健康日本21」がいま展開されている。この基本理念の一つがヘルスプロモーションの考え方である。 本講義では、このヘルスプロモーションの考え方やその特色を、その考え方が生まれた背景等を踏まえながら検討する。		④和唐正勝 (新潟医療福祉大学健康スポーツ学科)
⑤	ハンセン病問題概論 : 7月6日(木) 5限 医療のなかでは、しばしば患者が重大な人権侵害の被害者となる。この講義では、日本の近代医療史上最大の事件といってもよい「ハンセン病問題」について、生命倫理、医学史の視点から、当事者の証言や映像資料を使いながら解説する。この講義を通して、受講者には、医療従事者の倫理的責任の重さを学んでほしい。		⑤宮坂道夫 (新潟大学医学部保健学科)
⑥	尊厳あるケアを求めて : 7月22日(土) 2限 超高齢社会を迎える日本では、医療・保健・福祉の資源が十分とはいえない。量の問題も重大な課題であるが、高齢者の尊厳を考慮した対応が求められている。 尊厳とは何か。医療、福祉、リハ、看護、介護における現場で何ができるか、を考える。		⑥大田仁史 (茨城県立健康プラザ)
⑦	こころの継承 : 9月5日(火) 4限 複雑系としての脳の非線形動態から生まれる「こころ」という形而上学的存在は、固定された機能システムと、自己形成する非線形二次元ネットワークシステムとの二重構造の相関より生み出される。それはまた、人類がその誕生以来、「情報の集合体としてのこころ」の継承を続けていることの、良き証でもある。		⑦中田力 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席点 (毎回授業終了時にレポートを提出する)	履修者が多い場合には受講者数を限定する可能性があります			